

'23.8.27

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

http://tosaren.jp

tosaren_info@ybb.ne.jp

FAX : 03-3961-2445

2023年度 定期総会報告

7月9日(日)板橋区板橋地域センターにて、都サ連総会が開催されました。出席21サークル・欠席3サークル(うち委任1)、来賓に「公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構」理事長兼「東京都聴覚障害者連盟」会長の栗野氏をお迎えし、品川手話サークルの白鳥氏の議事進行により行われました。

2022年度「活動報告」は全会一致で承認。会計報告も収支決算については承認。但し、会計監査日が旧年のままになっていたため、修正したものを後日配付することになりました。

2023年度「活動方針案」は、4月担当者会議で、「50周年(2027年)記念行事」を、何らかの形で行うということになったので、方針に追加することで承認、「年間計画案」も承認されました。

予算案については、以下の理由で保留になりました。2022年度の分担金納入が、都合で総会までに間に合わなかったサークルがありましたが、支払が約束されていたので、収入の部に「未収金」として記載しました。入金されれば、2023年度予算に「未収金」が持ち越されることはないのですが、初めてのことで記載方法に混乱がありました。整理して修正案を作成し、後日、改めて承認をいただくことになりました。

◇2023年度役員は、以下の4名が昨年度に引き続き立候補、承認されました。

代表 高田直樹(手話サークルまちだ)

副代表 藤井 学(品川手話サークル)

事務局長 河野悠子(板橋手話サークル)

会計 剣持敦子(だるま会)

※事務局員は、所属サークルの推薦があれば総会での承認は不要です。(第14条-3)

今年度も、速やかな進行で無事終了することができ

した。活動報告を簡略化(質疑応答のみ)することで、担当者会議の時間も取れました。皆さま協力ありがとうございました。

(報告:河野)

第25回自立支援センターまつり 報告

2023年7月17日(海の日)渋谷区リフレッシュ氷川にて『第25回自立支援センターまつり&デフリンピックムーブメント東西南北』が開催されました。

(南の字が強調されているのは今回は南ブロックでの開催で、今後東ブロック(8/26)、西ブロック、北ブロックと同様なイベントを行うからだそうです。)

午前中の自立支援センターまつりの式典・基調講演・福引とリフレッシュ氷川内の展示・販売の参加費は無料で、午後からの映画『みんなのデフリンピック』の上映を含むデフリンピックムーブメントのイベントの参加費は一人1,000円でした

午前中の東聴連業務執行理事の越智さんによる基調講演では、現在の東京都聴覚障害者自立支援センターの土地の寄贈から贈与税の問題など建設にまつわるいろいろな話を聞くことができました。

福引の景品は、高田代表が用意したサンリオグッズと東聴連が用意したスポーツ関連メダルで、当選番号の中に230番台の方がいたことから午前中の参加者は250人くらいはいたのではないかと思います。

午後は噂の2025東京デフリンピックPR映画『みんなのデフリンピック』を観賞した後、全日本テコンドー協会による競技説明と選手による実演がありました。なぜ聴者の全日本テコンドー協会が?と思うかもしれませんが実はろう者のテコンドー選手がひとりもおらず、せつかく2025年に東京でデフリンピックが開催されるのにこのままでは肝心の日本選手が参加しない大会になってしまうとの危機感から少しでもテコンドーを知ってもらいたいとの事での登壇でした。全日本テコンドー協会のコーチいわく今からテコンドーを始めれば東京デフリンピックでは金メダルは無理かもしれないが入賞できるレベルまでには必ず育てると自信をのぞかせていました。これをきっかけにテコンドー選手が誕生してくれるとうれしいなと思います。

その後は、野添さんによる国際手話とは?やデフリンピック(3人)によるトーク、そして最後はデフスポーツサポーターへの参加協力のお願いで、午後の盛りだくさんのイベントは終了しました。

今回参加されなかった方も、まだ東西北でイベントが開催されますので、近くで開催の折には是非ご参加下さい。(報告:藤井)

新年度にあたって

今年度も東京都手話サークル連絡協議会代表を引き受けることになりました高田直樹です。

今年 16 年目の代表となり、一日も早く代表交代をしたいと思っておりますが、2025 デフリンピック東京の成功まではなんとか頑張りたいですね。どうぞよろしくお願い致します。

コロナ感染拡大の中の苦しい苦しい 4 年間のサークル活動や都サ連の活動でしたが、少しずつ元に戻りつつあるのではないのでしょうか？これからどんどん活動を盛り上げて行きましょう。

みなさまもよくご存じのテレビ番組だと思っておりますが、先日「チコちゃんに叱られる」を見ていたら、「東京の人が冷たいと感じるのはなぜか？」という問題がありました。

答えとしては、「情報が多すぎるから」という先生からの回答でした。

異常なほどの情報の過重負荷環境で疲れてしまい、無駄な関わりを防ぐ自己防衛によって、他人との関わりを持とうとしなくなるということでした。

引越してきてきたときの挨拶も、引越し屋さんにお任せすることもあるようです。そういえば、その人の人柄にもよるのでしょうか、わが家の向かいのアパートにどんな人が住んでいるのか、今は全く分かりません。道路で倒れている人がいても、都会では自分が助けなくても誰かが助けるだろうという責任回避が起きるといってお話しました。

時々、「都サ連ってなんですか？」「都サ連は必要ですか？」という言葉を受けます。とても残念な言葉なのですが、こういった話しがサークルに何年も通っている方からも出てくるのは、都サ連事務局の責任もとても大きいと思っておりますが、都サ連に関わる者すべてが振り返る必要があるかもしれません。先ほどの話しではありませんが、「誰かがやってくれる」「自分でなくても」と、そんな思いはなかったのでしょうか。

2023 年度の都サ連は加盟サークル数 24 です。コロナ禍の影響なのかかなり減ってしまいましたが、それでも会員総数は 2000 人を超える大所帯です。ひょっとすると、会員数が大きくなりすぎたために、無関心になっているのかも知れませんね。昭和 52 年に都サ連は設立されましたが、なぜ・なんのために都内のサークルが集まる必要があったのでしょうか？

手話を学ぶ一人ひとりが、聞こえない人の生活と権利を守る強い思いを持ち、無関心になることなく、都内手話サークル間の交流や情報交換をしたのではないのでしょうか。都内のサークルがまとまることによって、東京都の運動を盛り上げていたのではないのでしょうか？

各サークルも都サ連も所帯が大きくなることによって、サークルの役員も都サ連の事務局も、誰かがやってくれるだろうという方向に向かってはいませんか？

「なんのために手話を学ぼうとするのか」、「手話を学ぼうとしたきっかけはなんだったのか」もう一度初心に帰って考えて見ませんか？「自分がやらなくても」「誰かがやるだろう」ではなくもう一歩積極的に歩き出してみませんか？一人の力は弱くても、二人三人と力を合わせることで大きな運動に繋がります。ぜひ都サ連のお手伝いもして欲しいと思っております。

手話言語を広めるためには手話サークルの存在意義はとても大きいものがあります。「自分ができること」を考えて行動し、その一人ひとりの力が 2025 デフリンピック東京の成功にも繋がります。どうぞご協力をお願い致します。

東京都手話サークル連絡協議会
代表 高田 直樹

コロナ禍が落ち着いたかに思える今日この頃ですが、このコロナによってもたらされた ZOOM のような技術革新の恩恵は計り知れないものがあり、今まで高価で使いづらかった遠隔会議専用システムは無用の産物となりました。一方有名ろう講師にとっては自宅にいながら北は北海道、南は沖縄まで新しい受講生という顧客を開拓し、逆に教わる側としては東京に集中していて諦めていた有名ろう講師の講座に参加することができるようになり東京と地方との格差は縮まったのかもしれない。

私もデフリンピックの準備会議やその後の拡大会議は ZOOM で参加させてもらっています

これに対して対面を基本としている手話サークルにとっては、会員数がコロナ前までにはなかなか回復せず、このことが休会や都サ連を辞めてしまう原因になっており、技術革新の恩恵を受けるにはまだまだという感じです。コロナによって仕事やその他日常生活を変えざるを得ない人がいかに多いのかがわかります。そんな方たちも手話サークルは辞めたけど、何らかの形でろう者や手話とつながっていて欲しいと思っております。

都サ連の副代表として、まだまだ高田代表や河野事務局長にお世話になってばかりです。特に平日のイベントや会議に至っては、お二人におんぶに抱っここの状態です。ただしこれからは、今まで以上に都サ連の加盟サークルさんと交流し、それぞれの違いや問題点を認識し、どうすればもっと都サ連に親しみを持ってもらえるかを一緒に考えていきたいと思っております。また東京 2025 デフリンピックを通じて都内の未加盟サークルとの交流をはかり、都サ連に加盟していただけるような活動を行っていききたいと思っております。

東聴連の都サ連への信頼度は高まっています。特に耳の日文化祭は、都サ連なしには運営できないとさえ言っても過言ではありません。(あくまで個人の感想です。)なので、加盟サークルのみなさま、もっと都サ連に加盟していることを自慢しても良いですよ！

(副代表：藤井 学)